



## 2020年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月10日

上場会社名 株式会社アルファ 上場取引所 東  
 コード番号 4760 URL <http://www.popalpha.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高尾 宏和  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長 (氏名) 難波 和彦 TEL 086-277-4511  
 四半期報告書提出予定日 2020年7月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年8月期第3四半期の連結業績（2019年9月1日～2020年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第3四半期	4,790	△12.5	△201	—	△179	—	△306	—
2019年8月期第3四半期	5,472	△5.5	110	△44.3	132	△32.1	81	△35.1

(注) 包括利益 2020年8月期第3四半期 △336百万円 (—%) 2019年8月期第3四半期 59百万円 (△47.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第3四半期	△381.46	—
2019年8月期第3四半期	101.35	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年8月期第3四半期	4,419	1,964	44.5	2,443.24
2019年8月期	5,151	2,349	45.6	2,921.53

(参考) 自己資本 2020年8月期第3四半期 1,964百万円 2019年8月期 2,349百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2020年8月期	—	0.00	—	—	—
2020年8月期（予想）	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年8月期の連結業績予想（2019年9月1日～2020年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,450	△8.3	△300	—	△270	—	△420	—	△522.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年8月期3 Q	915,444株	2019年8月期	915,444株
2020年8月期3 Q	111,235株	2019年8月期	111,235株
2020年8月期3 Q	804,209株	2019年8月期3 Q	804,241株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(追加情報)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、世界経済・日本経済が減速し、輸出や生産活動を中心に停滞が続いております。国内においては、感染防止に向けた緊急事態宣言に基づく各種自粛対応の実施により、生産活動ならびに個人消費も縮小している状況です。

緊急事態宣言解除後における生産活動や消費活動の活発化も一部見受けられるものの、今後の日本経済は、不安材料も多く先行き不透明な状況が続くものと推察します。

このような環境の中、当社グループは引き続きメーカー・小売業のタイアップ企画である消費者向け販促キャンペーンの受注強化など、販促製品・サービスを組み込んだ企画・提案に注力してまいりました。

自社企画製品は、2019年10月の消費税増税の影響等により流通小売業の販促費支出への抑制姿勢が強まったこと、また、新型コロナウイルス感染防止を目的とした中小流通小売業へのイベント等経済活動自粛の要請が継続している影響等により、売上高は600百万円（前年同四半期比14.8%減）となりました。

別注製品は、採算性を重視した取引の選別を引き続き推進しておりますが、新型コロナウイルス感染防止を目的としたメーカー向けキャンペーンの自粛が継続している影響等により、売上高は2,634百万円（前年同四半期比11.1%減）となりました。

商品は、ノベルティ関連商品や演出物の売上について新型コロナウイルス感染防止を目的としたさまざまな活動自粛による経済の停滞や伸び悩みがあり、売上高は1,556百万円（前年同四半期比13.7%減）となりました。

この結果、当第3連結四半期累計期間の売上高は4,790百万円（前年同四半期比12.5%減）となりました。

損益面では連結売上総利益の減少及び、人件費・一般管理費の増加により、営業損失は201百万円（前年同四半期は110百万円の営業利益）、経常損失は179百万円（前年同四半期は132百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は繰延税金資産の取り崩し等により306百万円（前年同四半期は81百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、当社は広告等販売促進用品の企画・製作及び販売等を行う事業の単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債、純資産の状況

## (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金が241百万円減少したこと、受取手形及び売掛金が282百万円減少したこと、商品及び製品が30百万円増加したこと等により、前連結会計年度末比483百万円減少し2,762百万円となりました。

## (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、有形固定資産が18百万円減少したこと、無形固定資産が6百万円増加したこと、投資その他の資産が繰延税金資産の取り崩し等のため236百万円減少したこと等により、前連結会計年度末比247百万円減少し1,657百万円となりました。

## (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、短期借入金が80百万円減少したこと、未払法人税等が42百万円減少したこと、賞与引当金が78百万円減少したこと、未払金の支払等のためその他が254百万円減少したこと等により、前連結会計年度末比439百万円減少し1,817百万円となりました。

## (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、長期借入金が34百万円増加したこと、退職給付に係る負債が50百万円増加したこと等により、前連結会計年度末比91百万円増加し637百万円となりました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金が355百万円減少したこと、退職給付に係る調整累計額が31百万円減少したこと等により、前連結会計年度末比384百万円減少し1,964百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染拡大に関する緊急事態宣言の解除が政府から発表されたことにより、経済活動も徐々に再開されつつあります。しかしながら、自粛ムードの継続や新型コロナウイルス感染症の第二波到来による緊急事態宣言の再発令などにより、再び経済活動が停滞し、メーカー・中小流通小売業・その他販売会社等がイベント、キャンペーン・装飾物・演出物の自粛の延長や販促費全般の支出を抑制すること等によって、当社グループの業績及び財政状態に大きな影響を及ぼす可能性があります。

なお、業績予想につきましては、2020年4月6日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」において感染拡大に伴う影響額を考慮しているため、業績予想を据え置くことといたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,334,025	1,092,635
受取手形及び売掛金	1,255,986	973,494
商品及び製品	543,401	574,399
仕掛品	41,119	25,418
原材料及び貯蔵品	3,243	2,977
その他	69,104	94,013
貸倒引当金	△795	△707
流動資産合計	3,246,085	2,762,231
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	193,269	185,239
土地	1,136,967	1,136,967
その他(純額)	50,752	40,484
有形固定資産合計	1,380,990	1,362,691
無形固定資産		
のれん	14,500	12,250
その他	75,243	84,490
無形固定資産合計	89,743	96,740
投資その他の資産		
その他	434,423	197,755
貸倒引当金	△104	△0
投資その他の資産合計	434,319	197,755
固定資産合計	1,905,052	1,657,187
資産合計	5,151,138	4,419,418
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	518,692	480,120
電子記録債務	211,894	237,378
短期借入金	600,000	520,000
1年内返済予定の長期借入金	96,696	126,696
未払法人税等	47,294	4,643
賞与引当金	94,742	15,921
その他	686,825	432,384
流動負債合計	2,256,146	1,817,144
固定負債		
長期借入金	354,428	389,406
長期未払金	15,092	15,092
退職給付に係る負債	175,819	226,440
その他	136	6,457
固定負債合計	545,475	637,395
負債合計	2,801,622	2,454,539
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	409,796	409,796
資本剰余金	417,733	417,733
利益剰余金	1,941,824	1,586,796
自己株式	△264,190	△264,190
株主資本合計	2,505,162	2,150,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,213	15,825
退職給付に係る調整累計額	△169,859	△201,081
その他の包括利益累計額合計	△155,645	△185,255
純資産合計	2,349,516	1,964,878
負債純資産合計	5,151,138	4,419,418

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
売上高	5,472,629	4,790,825
売上原価	3,294,180	2,879,904
売上総利益	2,178,449	1,910,921
販売費及び一般管理費	2,068,181	2,112,657
営業利益又は営業損失(△)	110,267	△201,735
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,660	757
保険解約返戻金	—	22,576
投資有価証券売却益	32,445	—
その他	2,589	4,836
営業外収益合計	36,695	28,170
営業外費用		
支払利息	6,333	5,239
為替差損	3	—
投資有価証券評価損	7,852	—
その他	639	475
営業外費用合計	14,828	5,715
経常利益又は経常損失(△)	132,133	△179,281
特別利益		
固定資産売却益	1,772	—
特別利益合計	1,772	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	133,906	△179,281
法人税、住民税及び事業税	70,808	5,786
法人税等還付税額	—	△23,037
法人税等調整額	△18,413	144,745
法人税等合計	52,395	127,494
四半期純利益又は四半期純損失(△)	81,511	△306,775
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	81,511	△306,775

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	81,511	△306,775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,120	1,612
退職給付に係る調整額	17,507	△31,222
その他の包括利益合計	△21,613	△29,609
四半期包括利益	59,898	△336,385
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59,898	△336,385
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染の危険性継続に伴い、当社グループでは消費者向け販促キャンペーン、ノベルティ関連商品や演出物の自粛等、販促施策の抑制により売上高が減少し、当社グループの当四半期連結累計期間の業績に大きな影響を与えております。新型コロナウイルス感染の状況につきましては、2021年4月末頃までには落ち着きを見せ、5月以降は徐々に改善するものと仮定しております。これに伴い当社グループの業績も今後徐々に回復していくものの、本格的に回復するのは2021年5月以降になるものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損の認識に関する会計上の見積りを行っております。

なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自2018年9月1日至2019年5月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自2019年9月1日至2020年5月31日)

当社グループは広告等販売促進用品の企画・製作及び販売等を行う事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。